

各企業との連携内容について

○ダイキン工業株式会社

『地球温暖化対策の推進に関する連携協定』

連携の目的：地球温暖化対策の推進に関する取組の一環として、相互の連携を強化し、北九州市の地球温暖化対策の推進に取り組む。

連携の内容：①第三者所有方式による高効率空調設備の普及支援

②IoT を活用した設備管理による長寿命化とライフサイクルコストの最適化

③空調設備、LED 等を地域単位でエネルギーマネジメントを行なうことによる再生可能エネルギー最適利用の実現

④冷媒を再生する手順と更新後の機器に再生冷媒を利用する際の手順の確立

※第三者所有方式：初期費用とメンテナンス費用をかけずに、太陽光発電システム、蓄電池・EV、エアコン等の省エネ機器などを導入できる仕組み。一方で、利用者はサービス利用料（電気料金等）を支払う。

○株式会社デンソー九州

『地元企業の脱炭素化支援に関する連携協定』

連携の目的：地元企業の脱炭素化支援に向けた取組みを加速させるため、生産プロセス改善支援や電動車の普及促進、再エネ 100%電力の普及促進等に取り組む。

連携の内容：①中小企業向け製造ラインの効率化への支援

②充放電器、充電器に関する実証を通じた EV、PHEV 及び V2X の普及促進

③再エネ 100%電力の普及促進や再生可能エネルギーの有効活用の推進

※PHEV：ハイブリッドカー（HV）に外部充電機能を加え、電気だけで走れる距離を大幅に長くした次世代エコカー

※V2X：クルマと他(クルマや歩行者、インフラ、ネットワークなど)との接続や相互連携を総称するコネクテッド技術

○株式会社 Yanekara（ヤネカラ）

『地球温暖化対策の推進に関する連携協定』

連携の目的：地球温暖化対策の推進に関する取組の一環として、相互の連携を強化し、北九州市の地球温暖化対策の推進に取り組む。

連携の内容：①太陽光パネルから効率的に電動車に充電する充放電器の社会実装の推進

②充放電器の制御による再生可能エネルギーの最適利用に寄与する仕組みの構築

※効率的な充放電器：一般的に太陽光パネルで発電した電力を電動車に充電する場合、直流から交流に変換され、その過程で熱が発生しエネルギー損失が発生する。今回の充放電器は太陽光パネルで発電した電力を直流のまま利用することで、エネルギー損失を最小限に抑え、再エネを最大限有効に活用できるもの